

小石家文書研究会編

# 究理堂所蔵 京都小石家来簡集

▼B5判・三四六頁

本体・定価 一四、四〇〇円(税別)

ISBN 978-4-7842-1918-6

【二〇一七年二月刊行】

江戸時代後期の京都医界を主導した小石家の私塾・究理堂。

究理堂は小石家代々によって継承され、やがて医学教育の重要なセンターとして広く知られるとともに、医界にとどまらない多彩な知識人との交流の舞台となった。

本書では小石家究理堂が現在所蔵する貴重な史料のうち、医者・蘭学者による書簡を選んで影印(一部を除きカラー)・翻刻を収録。さらに史料に内在する論点を深めた論考も収め、元俊・元瑞をはじめとした小石家歴代の交友関係と旺盛な学事交流の実態を浮かび上がらせる。

## 【内容目次】

### 小石家歴代と究理堂書簡の概略

### 影印篇

### 翻刻篇

### 論考篇

青木歳幸／有坂道子／三木恵里子／海原亮／正橋剛二／浅井允晶

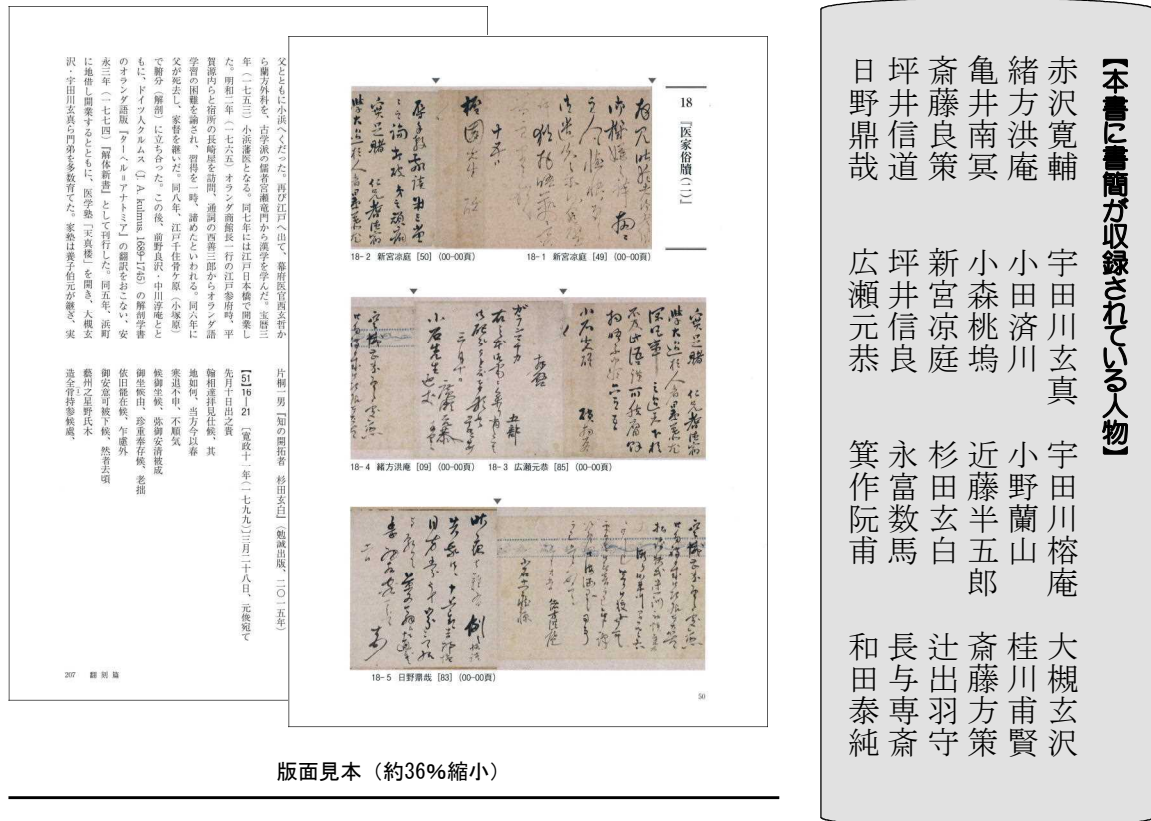
### 関連年表

### 収載史料一覧

### 索引(人名・事項)

## 【本書に書簡が収録されている人物】

- |      |       |       |      |
|------|-------|-------|------|
| 赤沢寛輔 | 宇田川玄真 | 宇田川榕庵 | 大槻玄沢 |
| 緒方洪庵 | 小田濟川  | 小野蘭山  | 桂川甫賢 |
| 亀井南冥 | 小森桃塙  | 近藤半五郎 | 斎藤方策 |
| 斎藤良策 | 新宮涼庭  | 杉田玄白  | 辻出羽守 |
| 坪井信道 | 坪井信良  | 永富数馬  | 長与専斎 |
| 日野鼎哉 | 広瀬元恭  | 箕作阮甫  | 和田泰純 |



版面見本 (約36%縮小)

## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	究理堂所蔵 京都小石家来簡集		本体14,400円(税別)	ISBN978-4-7842-1918-6
お名前				tel	本書HPのQRコード
				e-mail	
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				



## 備前岡山の在村医 中島家の歴史

中島医家資料館・中島文書研究会編著

中島(なかしま)家は、瀬戸内市邑久町北島に二代玄古が居を構え、今日(十代祐一)まで医業を継続している在村医家である。江戸中期より続く在村医家に残る貴重な書籍・古文書・器物類の解説・分析を通して、当家歴代の生涯、研究論文9篇、史料翻刻5篇、蔵書目録および年表を収録。中島家の医業の歩みに光を当てる一書。

▶B5判・318頁/本体10,000円(税別) ISBN978-4-7842-1826-4

## 緒方惟準伝 緒方家の人々とその周辺

中山沃著

緒方洪庵の嫡子で、ポンペ、ボードインらに学んだ緒方惟準は、宫廷医療への西洋医学導入、大阪大学医学部・軍医学校の前身創設、大阪での医療基盤確立などに貢献。その自叙伝「緒方惟準先生一夕話」を軸として、著者が博搜した資料とともにその生涯と交遊を詳述。幕末・明治初期の医学界をもものがたる基本図書。

▶A5判・1018頁/本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1563-8

## ※前野良沢 生涯一日のごとく

鳥井裕美子著

解体新書の訳者として知られる江戸時代の蘭学者・前野良沢の評伝。これまで『解体新書』刊行を中心に論じられてきた良沢の生涯を、彼の著訳書や周辺資料から再検討し、新たな良沢像を構築する。巻頭に口絵写真、巻末に前野良沢年譜・主な参考文献を付す。第29回矢数医学賞受賞。

▶B6判・334頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1786-1

## 本草学と洋学 小野蘭山学統の研究

遠藤正治著

日本本草学の頂点、小野蘭山の学統を考察の対象にし、洋学の影響を受け国際的視野を備えた博物学的な本草研究の実態を探り、わが国最初の近代的植物図譜『草木図説』誕生の環境を明らかにする。第2回徳川賞受賞、第16回矢数医学賞受賞。

▶A5判・400頁/本体7,200円(税別) ISBN4-7842-1150-0

## 在村蘭学の研究

青木歳幸著

信濃をフィールドにして、医師による医療のひろがり、医師の組織化、医療の近代化等の医療をめぐる歴史的变化に在村蘭学がどのように関わっていたのか、江戸時代の地域社会のなかでどのような歴史的展開をたどったか、とくに庶民生活とどう関わっていたかを明かすとともに、蘭学の全体像にたいしての位置付けと見通しにとりくんだ成果。

▶A5判・460頁/本体8,600円(税別) ISBN4-7842-0963-8

## 在村蘭学の展開

田崎哲郎編

【内容】在村の蘭学と地域医療の近代化(青木歳幸)/飯沼塾とその門人の動向(遠藤正治)/美作在村蘭学概論(下山純正)/下野における蘭学の系譜(菊地卓)/新潟県における洋学の系譜(蒲原宏)/明治前期地方医師の概況(田崎哲郎)/蘭馨堂門人・鳥海松亭(平野満)

▶A5判・330頁/本体5,800円(税別) ISBN4-7842-0701-5

## 高良齋とその時代 附・日本散瞳薬伝来史

福島義一著

寛政11年(1799)徳島に生まれ、本草学を乾純水、医学を養父高錦国に、長崎では吉雄権之助、シーボルトに西洋医学を学び、のち大坂で眼科を開業して名声を博した高良齋の生涯と業績を、戦後の眼科学会の第一線で活躍してきた著者が初めて一書に纏める。

▶A5判・270頁/本体3,800円(税別) ISBN4-7842-0906-9

## 角倉一族とその時代

森洋久編

近世京都の大商人・事業家として知られる角倉一族。本書は現代の角倉イメージにとらわれず、文化・技術の総体の中で近世の吉田・角倉一族の業績を俯瞰的に検討。多彩な分野の研究者のみならず、近世の技術の継承者たる職人・技術者も含む26名の論考を収録する。

▶A5判・628頁/本体8,800円(税別) ISBN978-4-7842-1797-7

## 緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く

緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室編

第一部で「除痘館記録」の原本図版・翻刻・現代語訳・註と解説、第二部に論考を配し、幕末という当時の歴史的背景や具体相、あるいは洪庵を取り巻く状況や環境などを丁寧に解説することで、より多くの人々が緒方洪庵と除痘館事業の活動を再認識できるよう構成し、病いとの闘いに迫る。

▶A5判・216頁/本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1806-6

## 緒方郁蔵伝 幕末蘭学者の生涯

古西義麿著

備中築瀬村生まれの緒方郁蔵(1814-1871)は、緒方洪庵の義兄弟となり、医師の傍ら独笑軒塾を開き、除痘館で種痘の普及に尽力、大阪医学校で翻訳や教育に従事した。緒方郁蔵の生い立ちから58歳で没するまでの生涯を、遺された著書や資料を丹念に読み解くことでたり、真摯に生きた幕末の蘭学者・緒方郁蔵の実像を明らかにする。

▶A5判・186頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1774-8

## 医療福祉の祖 長与専斎

外山幹夫著

日本近代の医療・衛生・福祉の確立者ともいべき長与専斎の生涯に焦点をあて、明治新政府の政策のなかで近代医療福祉制度がどのように整備されていったのか、専斎の果たした功績に即して紹介。長与専斎とその家族・交友関係など幅広い視点から、医療の世界における「明治維新」を地元大学の歴史家が描く。

▶A5判・200頁/本体2,000円(税別) ISBN4-7842-1107-1

## 緒方洪庵の蘭学

石田純郎編著

『解体新書』以後の緒方洪庵に代表される日本の蘭医学……蘭学者および彼らが学んだ原典とその著者たちのプロソグラフィ(集団履歴調査法)的研究を通して日本医学の質を明かす。

▶A5判・366頁/本体4,800円(税別) ISBN4-7842-0751-1

## 蘭学、その江戸と北陸 大槻玄沢と長崎浩齋

片桐一男著

寛政11年越中高岡の町医の子として生まれた長崎浩齋は、文化14年に江戸に遊学、大槻玄沢の門下に入る。本書は玄沢と浩齋の往復書簡を中心に、長崎家に遺る書簡、写本、版本などの紹介を通して、当時の地方の蘭方医家の様子や、江戸と地方との交流に光をあてる。

▶A5判・364頁/本体8,800円(税別) ISBN4-7842-0769-4

## 松岡恕庵本草学の研究

太田由佳著

江戸前～中期に活躍し、近世日本において本草学が博物学的に発展してゆくなかでその一翼を担った人物として評価される京都の本草家松岡恕庵(1668-1746)を主題に据え、その学問の実像に迫る。松岡恕庵に関する基本的研究書。巻末に資料編として松岡恕庵著作・関連資料目録を付す。

▶A5判・390頁/本体7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1617-8

## 飯沼慾齋

飯沼慾齋生誕二百年記念誌編集委員会編

幕末の岐阜大垣で、蘭山とチュンベリーを結集したともいえる『草木図説』草部20巻を出版した飯沼慾齋(1783~1865)。本書はその生涯と学問を、植物学・医学・薬学・化学・人文など諸分野の専門家により明らかにする。

※ご購入については総総合教育センター(電話:0120-435-288)まで。

▶B5判・518頁/本体12,000円(税別)

## 洋学史論考

佐藤昌介著

思文閣史学叢書

明治維新の胎動を準備した大槻玄沢・高野長英・小関三英・福沢諭吉・渡辺崋山らの諸業績の分析を通して洋学の受容と発展を解明し、あわせて近代化に果した軍事の科学化と軍制改革・軍楽などを論じる著者最新の論集。

▶A5判・410頁/本体7,800円(税別) ISBN4-7842-0782-1

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。